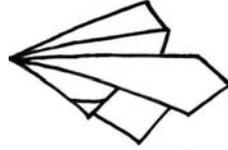


# 紙飛行機

こちら校長室

平成20年度 5月号



平成20年 5月19日  
京都市立修学院小学校  
校長 伊藤喜昌  
TEL 781-4439

学校教育目標を達成するために…。

## 「めざす学校像」

- ・ 落ち着いて学習できる学校
- ・ 楽しくて、安心して登校できる学校
- ・ 美しく清掃され、学習環境が整えられた学校
- ・ 地域と結ばれ、信頼される学校



このような学校になるように、教職員一同、力を合わせて取組を進めます。学校参観や学校評価の際に、このような視点で学校を見ていただき、ご意見・ご支援をいただければありがたく思います。

では具体的に、子どもたちが、どのような姿を見せた時、私たちは「よし!」とするのでしょうか。次に「めざす子どもの姿」について書きます。

## 「めざす子ども像」

- ・ 学習に積極的にまじめに取り組む子ども（「まじめ」を強調します）

進んで発表する子ども、宿題を忘れない子ども、進んで自由勉強する子ども、たくさん読書する子ども、地域の活動に進んで参加する子ども…

- ・ 進んで汗を流す子ども（「汗」は体を動かした証拠です）

めあてや目標をしっかりもち粘り強くやり遂げようとする子ども、掃除をがんばる子ども、仲間と共に一生懸命遊ぶ子ども、部活を続ける子ども、学校外への活動に進んで出ようとする子ども、多くの作品展に作品を出そうとする子ども、家の手伝いをする子ども…

- ・ 自他の生命を大切にすること（「自他」が尊重されてこそ）

進んであいさつする子ども、話をしっかり聞く子ども、友達のよさを見つける子ども、外国の友達と仲良くする子ども、自分の思いが表現できる子ども、「もの」を大切にすること、ルールを守る子ども…

子どもたちがこのような姿を見せるよう、担任を中心として全教職員が取組を進めます。おうちでもこのような視点で、子どもたちの様子を見ていただけたらと思います。

では、このような子どもを育てるために、教職員はどうしなければいけないのか、またどうあるべきかを明確にしておかなければなりません。今回は「めざす教職員像」についてお話をします。

## 給食 いただきま〜す！



←給食室のサービスホールが、桜やチューリップの花（4月）、こいのぼり（5月）で美しく飾られました。子どもたちに楽しい雰囲気の中で給食を取りに来てほしいという給食調理員さんのアイデアです。



↑  
サービスホールに「いただきま〜す！」と子どもたちの元気な声が響きます。本年度は、給食調理員さんもサービスホールまで出て、子どもたちの元気な「いただきます」に、笑顔で「どうぞー！」と返事をしています。

全教職員で子どもたちを見守っていきます。

## ♪ だからこの命 大切に生きていく だから人の命も 大切に生きていく

『私たちは、生まれた日のことを何も覚えていません。死ぬ日のことも何も分かってはいません。つまり、私たちは、人生の始まりと終わりのことを何も知ってはいないのです。しかし、はっきりしていることが1つだけあります。それは、私たちが、今、ここに、生きているという事実です。』

何のために生まれてきたの？とか、何のために生きていくの？と考えるより、「今、ここに生きているのだから、この命を大切に生きていく」と考えることが大切であると私は思うのです。だから、自分の命も人の命も大切に生きていかねばならないのだと思うのです。

では、「自分の命を大切にする」とは、どうすることなのでしょう。また、「人の命も大切にする」とは、どうすることなのでしょう。担任の先生や友達と一緒に、考え、話し合い、実行してほしいと思います。』

このような話を憲法月間によせて、全校児童の前で話しました。ただ話すだけではなく、修学院小学校教職員「きららバンド」の演奏で、「生きる（オリジナル）」という歌を全校児童



の前で歌いました。命を大切に作る人間であってほしいと強く願って取り組みました。今後、何かをしようとする時、「校長先生が歌っていた」ことを思い出し、自分の命や人の命を大切に作る人間であってほしいと思います。

おうちでも学校でどんな話し合いができたか聞いていただいたり、基本的な人権の尊重について話し合っていたりすればありがたいです。